令和8年9月8日（火）
令和8年10月6日（火）

サンビレッジ国際医療福祉専門学校 作業療法学科２年生が 施設実習に来ました。

令和8年9月8日（火）と10月6日（火）の二日間にわたり、サンビレッジ国際医療福祉専門学校の作業療法学科2年生8名が、施設実習に来ました。はじめは緊張した様子でしたが、子ども達と活動を共にする中で、いつしか緊張もほぐれ、充実した実習になったようです。

また、次のような感想をいただきました。

・この見学実習を通じて、活動内容が環境面、機能面などを考えながら作られていると感じた。また保護者が共に参加することで、活動の成果や目的を情報共有する役割もあると知り、学びが深まった。

・グループ療育では、子ども同士の関わり、職員のアイコンタクトを使っての指示の出し方や元気いっぱい盛り上げてほめる関わり方を見られて勉強になった。個別療育では、どんな環境になると子どもの感情が変わるのか、どんな関わりや遊びをすると楽しくなるのかなど、いろんな場面や表情を見て感じることができてよかった。

・療育に通っている子どもといっても、それぞれがある特性を強く持っている子であって、過ごしている様子も様々だった。その子がどんな特性を持っているか、どう対応するとよいかを考えていくことが大切であると感じた。

・「サーキット遊び」では、姿勢や感覚などいろいろな面で発達を促す工夫があった。第一に子どもたちが楽しみながらできる「あそび」に工夫があることを知って、とても勉強になった。